

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	令和6年8月22日(木曜日) 午前10時から午前10時50分まで
3	会 場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、阿部勇委員、伊藤勝廣委員、伊藤孝二委員 上野隆子委員、清水真季委員、清水正志委員、須長弘二委員、田中幸子委員 田村卓也委員、手塚博邦委員、中山康昭委員、二瓶由美委員、長谷屋淳一委員 柳沢裕美委員、吉池由美委員、吉村かつえ委員、割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長、春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、山崎丸子市民サービス課長 朝日丸子産業観光課長補佐兼商工観光係長、矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長 竹下丸子地域建設課長兼丸子地域農地整備事務所長 坂口丸子学校給食センター所長、松崎丸子消防署長 久保田地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、青木統括幹、中島主任、藤野主事
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 ・ 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和6年8月27日

1 開 会 (センター次長)

2 あいさつ (小林会長)

3 会議事項 (進行 小林会長)

(1) コミュニティセンター熊の森の無償譲渡について 【資料1】

・資料に沿い、丸子地域振興課長から飯沼自治会への無償譲渡について説明。

<質疑・応答>

(委 員) 飯沼自治会が指定管理者として管理運営していたということだが、市で指定管理料を支払っていたのか。

(担当課) 上田市で指定管理料は支払っていない。

(2) 市民参加・協働推進課からの諮問について (設置単位等について) 【資料2】

・【資料2】及び第4回丸子地域協議会資料【資料4】【資料5】を用いて内容を確認しつつ、事務局から意見を求めた。

①上田地域を一つの設置単位にすることについて

<意見・質疑・応答>

なし

②最大6地域の協議会を一つにした場合の適正な委員数について

<意見・質疑・応答>

(委 員) 今は6地域協議会に120人の委員がいるということか。

(事務局) 現在は「上田右岸」と「上田左岸」合わせて40人。以前は、6地域協議会あって120人だった。

(委 員) 最終的には右岸・左岸が決めることだと思う。しかし、右岸・左岸合わせて委員が20人となると、地域の皆さんが参加できる機会が薄れる。最低でも24人(4人×6地域)くらいの人数が必要だと思う。

(司 会) 事務局としてどうか。丸子としての意見はどう進めていくか。

(事務局) 丸子地域以外の話であるため、右岸・左岸が 20 人で問題ないと判断すればそれでよいとも言える。しかし、人口が異なる中でどの地域も 20 人でよいのかという議論も進んでくる。いろいろな意見をまとめて最終的に丸子地域協議会の意見として出したい。

(委 員) 各地域によって温度差が違いうように感じる。とくに川西地域は、地域協議会・まちづくり会議・行政と連携して、地域を変えていくための熱意を感じる。しかし、丸子はそうした熱意が足りない。もっと、まちづくり会議・自治会・行政が話合って地域をどうしていくか考えていく必要があると思う。そのような意味で、上田地域の協議会が一つになるとますます地域の温度差が違ってしまうと思うがどのような対策をしていくのか。

(事務局) 住民自治組織・自治会・地域協議会の連携については、もう一つの諮問での事項となるため、別の機会で議論させていただきたい。上田地域のそれぞれの温度差については、市民参加・協働推進課へ確認させていただく。

(委 員) まず、①の上田地域というのは右岸・左岸を一つにするということでしょうか。②の最大 6 地域というのは、以前は上田地域にあった 6 地域協議会を一つにするということか。また、一つにした場合に定数が 20 人でいいのか、もっと増やした方がいいのかという話でいいか。

(事務局) ここで言う上田地域とは、旧上田市地域を指す。上田地域には初め 6 地域協議会あったが、第 9 期地域協議会から右岸と左岸に分かれた。現在はそれぞれ 20 人ずつの定員で 40 人の委員がいる。②の最大 6 地域というのは、旧上田市地域に当初あった 6 地域協議会のことを指す。この最大 6 地域の中に丸子、武石、真田は入っていない。

(委 員) 今、上田地域の地域協議会委員は右岸・左岸合わせて 40 人。もし、右岸・左岸地域協議会が一つになると、かつて 6 地域協議会があった地域も含めて一つに集約される、ということでしょうか。

(事務局) そのとおり。

(委 員) 上田市には地域協議会が 4 つになるということか。

(事務局) そのとおり。右岸・左岸地域協議会が一つになった場合、丸子・真田・武石・上田の 4 つになる。

(委 員) それだけ大きな地域で一つの地域協議会となると、もう少し上田地域にはしっかりしてもらいたい。

③通算して 3 期 6 年を超える委員の再任を認めていない現在の条例の見直しについて
＜意見・質疑・応答＞

(委 員) 3 期 6 年で妥当。見直す必要はないと思う。

(委 員) 今の意見に同意する。年数を考えると 6 年くらいが区切りであり、人を切り替えることも大事だと思う。残留してほしい委員には「アドバイザー」等、別の役職で残るような環境を作ればいい。

(事務局) 条例で「6 年を超える者は、再任されることができない」とうたっているのは地域協議会だけである。市としてはこれを撤廃し、「審議会等附属機関の在り方に関する基本指針」に基づいて「同一審議会等での在任期間は、原則として 3 期 6 年以内とする」に当てはめたいということが一番の狙い。基本指針における「原則として 3 期 6 年以内とする」から外れるのは、各種団体からの推薦委員や専門知識のある委員。もしも、条例から 6 年という言葉が外れたとしても、市の指針により「原則 3 期 6 年」は適用される。

(委 員) 私の所属団体は高齢化していて再任できる人がいないため、再任ができると助かる。任期は 3 期 6 年で良いと思うが、再任できるようになれば地域協議会に参加が可能になる。その点が見直されれば良いと思う。

(委 員) 6年任期を全うして一回やめて、年数を置いてから改めて委員になって6年活動するということは可能なのか。

(事務局) 地域協議会は「6年を超える者は、再任されることができない」と条例にある。したがって、若いときに委員を務めて何年か経過したあとに、経験を活かして再任できる可能性を作りたいということが今回含まれている。

(委 員) 現状では一度、3期6年委員を務めたらもうできないということによいか。

(事務局) そのとおり。地域協議会条例で6年とうたっているため、6年以上はできないという規程になっている。

(委 員) 年数が経ってから再度やりたい人や適任性のある人が、条例があることによって再任できないというのは惜しいことだと思う。

(委 員) 6年委員を務めて、そのまま委員を続けると個人の負担が多くなってしまう。6年という区切りについて決まりは必要だと思うが、条例があるために再任できないのはもったいないことだと思う。ただし、地域協議会委員として会議に出席することが負担になるのはいけない。6年という区切りは残しつつ、きつい縛りはここで見直すことは良いことと思う。

(司 会) 自治会連合会連から5地区の自治会長が推薦されてきているが、役員の変更によって2年で終わるというのが一番多いのか。

(委 員) 自治会連合会の任期は1年。次年度は交代となる。

④委員の役割等の見直しの必要性について

<意見・質疑・応答>

なし

4 その他

(1) 今後の協議会日程について

第6回 10月3日(木) 午前10時 丸子地域自治センター 4階 講堂

第7回 10月31日(木) 午前10時 丸子地域自治センター 4階 講堂

第8回 11月28日(木) 午前10時 丸子地域自治センター 4階 講堂

<全体を通しての意見・発言>

(委 員) 今回の地域協議会の設置単位の見直し等について、上田地域の6協議会をまとめて右岸・左岸の2つにしたということだが、こうした案件が出てきた背景は何か。旧上田市の地域協議会の基本的な考え方なのか、市として望む方向性をもって協議が進んでいるのか、その点について聞きたい。

(事務局) 令和6年7月25日の地域協議会資料【資料5】を参照する。これまでの見直し経過として、第7期地域協議会で意見聴取した際に、地域協議会と住民自治組織との違いが分かりづらいことや自治会役員の委員兼務による会議出席等の負担増といった課題が指摘され、地域協議会のあり方を検討する必要が生じていた。このため、第7期(令和元年度～2年度)に3つの見直し案について継続協議となった。

第8期地域協議会では意向確認の際に、上田地域の地域協議会の設置単位を千曲川「右岸」「左岸」の2つとする提案がされた。

今も継続して上田地域内の地域協議会を一つにすることについて、右岸・左岸で議論されており、真田・丸子・武石地域協議会にも意見を求められている。丸子としての意見を上げたうえで最終的に上田市全体として決定し、各地域協議会へ報告する。

(委員) 地域協議会の都合があると理解する。ただ、合併により上田市として広くなった。上田市の施策についてわかりにくい。また、地域として市に意見を出す機関としての地域協議会は非常に大事だと思う。旧上田市の地域協議会を統合した流れについて、やがて丸子・武石を一つにすることや、旧上田市地域とそれ以外に分けてしまうような動きになりかねないと危惧する。地域の声を反映する場でもあり、地域に対する施策について上田市の意見を聞いて意見を伝える機関である地域協議会は非常に大事。そのような流れには乗らないようにしていないとならないと思う。

5 閉 会